

計画/プラン名称		(第4次) とよおか教育プラン	(第2期) 文化芸術振興計画	(第2期) スポーツ推進計画	図書館未来プラン
現況					
計画期間等(年度)		2020~2024	2023~2027	2022~2031	2017~2026
基本理念(長期目標)		ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成 ~非認知能力(やり抜く力・自制心・協調性)を子どもたちに~	いのちへの共感に満ちたまち	~健康で笑顔あふれる元気なまち~ スポーツパークとよおか	・図書館を学びとつながりの場として活用し、豊岡の暮らしを楽しむ人が増えている
基本方針(戦略目的) 基本目標等 ※目指す姿等		(1)「生きる力」を育む教育の推進 (2)子どもたちの学びを支える仕組みの確立	・文化芸術による「小さな世界都市の実現」	・スポーツを楽しむ人が増えている	—機能強化の柱— ①市民が図書館を身近で利用価値がある場所と認識 ②誰もが安心して過ごすことができる場所
施策体系	主要手段 (基本的方向)	「あたまの力」の育成 (1)-②「こころの力」の育成 (1)-③「からだの力」の育成 (1)-④「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成 (1)-⑤特別支援教育の充実 (2)-①教職員の資質・能力の向上 (2)-②学校園の組織力の強化 (2)-③安全・安心な教育環境の整備・充実 (2)-④家庭と地域による学校と連携した教育の推進	(1)地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている (2)優れた文化芸術が創造され、発信されている (3)文化芸術による交流が盛んになり、豊岡の魅力が高まっている (4)子どもたちが優れた文化芸術に触れ、世界と出会っている	(1)スポーツに係る情報が市民へ広く周知されている (2)団体(個人)のスポーツ活動が進んでいる (3)スポーツ活動を支える体制が整っている (4)スポーツに関する関心が高まっている (5)スポーツする場所が適正に管理・整備されている	—機能強化の視点— (1)あらゆる情報提供の拠点 (2)子どもの読書支援 (3)つながりと活躍のきっかけづくり
	具体的手段 (施策等)	※社会教育に関連するものを抜粋 (2)-④-1 家庭における子どもが伸びる習慣づくり (2)-④-2 親としての学びへの支援 (2)-④-3 関係機関の連携による子育て支援 (2)-④-4 地域全体で子どもを育てる環境づくり	(1)-①伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている (1)-②地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている (2)-①優れた文化芸術に身近に触れている (2)-②豊岡の優れた文化芸術が内外に知られている (3)-①文化芸術による交流を通し、文化芸術に携わる人が増えている (3)-②多様性を受け入れ、支え合う気風がまちに満ちている (4)-①子どもたちが優れた文化芸術に触れている (4)-②豊かな表現力を身に付けた子どもたちが増えている	(1)-①スポーツイベントや指導者育成などの情報が広く発信・共有 (1)-②スポーツ施設が情報共有の場となっている (2)-①スポーツ協会、スポーツクラブ21などの活動が活発化 (2)-②スポーツ団体による各種大会の開催 (2)-③スポーツ団体の会員増 (3)-①スポーツ指導者が育っている (3)-②スポーツ推進委員の資質向上が図られている (3)-③団体等の自主的な活動に対して市がサポートしている (3)-④スポーツボランティアが増えている (4)-①地域住民がスポーツを通して交流している (4)-②誰もが参加できる市民スポーツ教室やイベントが開催 (4)-③トップアスリートと触れ合う機会がある (4)-④スポーツにおけるコミュニティリズムが実現、市民が旅行者と交流 (5)-①スポーツ施設が適正に維持管理されている (5)-②必要なスポーツ施設が適正に配置されている	(1)-① 幅広い視野からの資料収集 (1)-② 市民に近い返却・貸出場所の設置 (1)-③ 非来館、非接触型サービスの展開 (2)-① 読書の習慣化を支援 (2)-② 調べ学習の定着を支援 (2)-③ 学校図書館の支援 (2)-④ ボランティア等の人材育成 (3)-① 市民の活動拠点を提供 (3)-② 多様な主体(個人とグループ)の利用を実現 (3)-③ 本を通じた社会貢献と自己実現を支援
目標値(数値)の設定有無		あり	なし	なし	なし
具体的取組及び実績等		『地域全体で子どもを育てる環境づくり』 ・「地域とともにある学校」づくりを組織的に推進するため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)拡充 2020年度~2022年度 小・中各1校 2023年度中学校区に1校 2024年度 全小・中学校	文化芸術創造交流事業 (豊岡アートシーズン) ①一体的広報等共通事業 総合パンフレット発行、SNS等での情報発信、「とよおかアートフレンズ」の運営、「とよおかアート縁日」の開催 ②永楽館狂言鑑賞教室(小6対象) ③サンタクロース会議(小2対象) ④おんぶの祭典、演劇プロジェクト、訪問コンサート等 文化芸術創造交流事業は開始から7年経過。鑑賞型でなく子ども・親子を対象に体験を重視した事業。市民に認知された取組となっている	・HP・SNSによる情報発信 ・団体活動、大会派遣等各種補助金交付 ・各種スポーツ大会実施 ・指導者講習会の実施 ・スポーツフェスの開催 ・出前講座の実施 ・出石B&Gプール修繕、小学校屋外夜間照明LED化、このとりスタジアム内野舗装修繕等	・商業施設(アイティ)に返却ポストを設置 ・館内検索性PCにセルフ貸出機能を追加 ・子どもの読書支援 ママ・パパ読書タイムプレゼント ・学校連携事業 図書委員会活動への協力 ・市民協働事業 サンデーマーケット開催 市民の作品発表
取組評価		地域の現状を踏まえた活発な意見が多く、学校と地域をつなぐ具体的な取組が提案され活動		・補助金交付団体、イベント参加者の固定化 ・財源不足による施設の維持管理	・返却ポストの設置は月400点近く利用があり効果大 ・図書委員会参加は学校の状況・要望を理解しやすい ・サンデーマーケットは、本の貸出増にはつながらず
課題		・人材確保 ・小中一体型の運営協議会等地域の実情にあわせた設置方法検討 ・全校導入に向け、先行事例の周知や有識者による講演会等、スムーズな導入の取組を検討	・市全体の文化芸術への取組に関する市民への浸透 ・魅力的な事業内容、効果的な広報戦略 ・官民を問わず、文化芸術を総合的に広報できる仕組みを構築し、より多くの市民が参画できるような環境性を行う必要	・情報発信の強化(魅力的な事業内容・効果的な広報) ・スポーツ関係団体の育成 ・指導者育成 ・女性の働く世代のスポーツ実施率の低さ ・スポーツイベントの見直し ・トップレベルの競技観戦の機会 ・適正な施設管理(修繕・稼働率向上、施設予約オンライン化)	・図書館サービスの周知 ・様々な来館者を受け入れられる工夫、相互理解 ・貸出返却の利便性向上 ・学校図書館、授業の支援と連携 ・民間文庫との連携 ・図書館運営への市民参画

計画/プラン名称		地域コミュニティビジョン	多文化共生推進プラン	(第4次) 男女共同参画推進プラン	障害者福祉計画 (障害者計画)
現況					
計画期間等(年度)		2020~2029	2021~2025	2022~2026	2021~2026
基本理念(長期目標)		誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域	多様な人々が地域や職場の一員として活躍している	だれもがいきいきと暮らすことができる寛容な社会	障害のある人もない人も、共に支え合い、自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり~多様性を受け入れる社会をめざして~
基本方針(戦略目的) 基本目標等 ※目指す姿等		(1)住み続けられる地域の維持 (2)暮らしやすさの持続 (3)個性ある地域の誇りづくり	暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている	(基本目標) (1)だれもが互いを尊重し、自分らしい生き方を選択できる (2)だれもがあらゆる分野に参画し、支え合える (3)だれもが安全・安心に暮らすことができる	(基本目標) (1)「自己実現できる」まちづくり (2)「人と人が支え合う」まちづくり (3)「いつでもどこでも相談できる」まちづくり (4)「地域で生活できる」まちづくり (5)「安全で安心して暮らせる」まちづくり
施策体系	主要手段 (基本的方向)	(1)-① 地区住民みんなで持続可能な住民自治が行われている (1)-② 地区で子どもを育てる体制ができている (1)-③ 地区にUIターンする若者が増えている (2)-① 地区の防災力が高まっている (2)-② 地区で住みよい環境が守られ活かされている (2)-③ 地区のすべての人が支え合っている (3)-① 地域の資源を活かして地区が豊かになっている (3)-② 地区の伝統や文化が次世代にうまく継承されている (3)-③ 地区住民が学び合い豊かに生活している	(1)外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている (2)外国人市民が安全・安心に暮らしている (3)外国人市民が地域活動に参画している	(施策の柱) (1)-① 固定的性別役割分担がなお強いことへの気付き (1)-② 子どもの頃からの人権教育(ジェンダー)の推進 (2)-①~③ 略 (3)-①~② 略 (3)-③ 生涯にわたって安全・安心に暮らすことができる地域づくり (3)-④ 社会包摂の実現	(1)-①、② 略 (1)-③ 社会参加・生きがいづくり (2)-① 広報・啓発 (2)-②、③ 略 (3)~(5) 略
	具体的手段 (施策等)		(1)-① 略 (1)-② 略 (1)-③ 日本語を学ぶ機会が増えている (2)-① 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援が充実(中略) (3)-① お互いの文化、生活習慣のちがいを認め合っている (3)-② 気軽に交流できる居場所や機会が増えている (3)-③ 地域、地区住民とつながりができている (3)-④ 外国人市民が主体的に活動している (3)-⑤ 多文化共生を推進する人材が育っている (3)-⑥ 留学生が地域と交流している	(1)-①-ア 広報・啓発の実施 (1)-①-イ 市民主体の広報・啓発活動の促進 (1)-②-ア 学校園における男女共同参画のための教育・保育の推進 (1)-②-イ 市民のためのジェンダー平等教育の拡充 (3)-③-ア 子ども育ち支援策の充実 (3)-④-ア 地域でのネットワークづくりの推進	(1)-③ 社会参加・生きがいづくり (地域活動への参加促進) ア 地域活動への参加促進のための外出支援 イ スポーツ、文化事業、コミュニティ等地域活動への参加促進 ウ 教養・知識を高めるための生涯学習の機会の充実 (2)-① 広報・啓発 (地域における福祉教育、人権教育の推進) ア ニーズに応じた学習機会、学習メニューの提供
目標値(数値)の設定有無		なし	あり	あり	あり
具体的取組及び実績等		・地域コミュニティ組織への交付金 ・各地域コミュニティでの「地域づくり計画」の策定 ・行政と地域コミュニティ組織との意見交換会の実施	(1)コミュニケーション支援 ・外国人市民相談・交流事業 ・日本語教室、ボランティア研修 (2)生活支援 ・多言語化によるコミュニケーション支援・生活支援 ・母語・継承語の調査研究と実践 (3)意識啓発と地域づくり ・ワークショップの開催 ・セミナー開催 ・多文化共生推進会議、庁内連絡会議の開催	・職場、家庭、地域、学校等の分野・対象ごとに、ジェンダーに関する研修・ワークショップを実施 ・「豊岡みらいチャレンジ塾」を実施(女性の人材育成プログラム) ・ジェンダーギャップについて考えるオリジナル意識啓発マンガの作成・活用 ・市の審議会等の女性委員の割合:31.6%(2023.4現在)※2025年度までに50%以上 ・地域コミュニティ組織における女性役員の割合:14.6%(2022年度)※2025年度までに30%以上 ・女性従業員2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数:17事業所(2022年度)※2025年度までに30事業所	社会参加促進支援 ①社会参加・生きがいづくり ・スポーツや文化活動など地域活動への参加促進するため、身障者スポーツ大会やクリスマス会、スポーツチャレンジ大会などを開催 ・がっせえアート展への出展など
取組評価		・公民館からコミュニティに移行した際に、「地域防災」「地域振興」「地域福祉」「人づくり」を主な機能とし、公民館事業は「人づくり」に位置づけて継承	・交流促進 ・市職員の外国人市民対応への理解の深まり ・外国ルーツの子ども支援、やさしい日本語など多文化共生を考える機会の提供	・地域や職場等で一步踏み出す女性や、意思決定・方針決定過程に参画する女性の増加につながっている。 ・女性も男性も働きやすく働きがいのある職場への変革に取り組む事業所が増えている。 ・ジェンダー視点のある保育・教育の促進	・地元高校生・短大生と障害者との交流機会の創出 ・障害者の社会参加の促進
課題		・交付金の交付方法検証(地域コミュニティが始動した2017年度と同条件のまま) ・地域づくり計画の策定・内容における温度差 ・地域課題の明確化 ・「人づくり」に係る事業費の一括交付金組入れの検討 ・課題は、都市部・中山間部・共通の分類で洗い出し	・日本語ボランティアや通訳者等の人材育成 ・研修参加者の固定化 ・全庁的に外国人市民対応できるよう研修の実施 ・外国ルーツの子ども支援として、日本語教育の充実、母語・継承語、親の母文化教育の必要性 ・外国人市民が能力を発揮できる環境整備 ほか	・無意識の偏見や思い込み、固定的な性別役割分担意識が根強いこと、継続した学習・対話機会の提供 ・女性・男性双方の意識改革 ・固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習の見直し	・事業によっては高齢化による参加者の減少